

1.5時間で内容がわかる**導入セミナー**

「知財英語コミュニケーションワークショップ」

| | |
|-------------------|--|
| 実施日程 | 11月17日(金) 18:30~20:00 弁理士会館 |
| 受講料 | 1,000円 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none">● 「知財英語コミュニケーションワークショップ」の内容に興味がある方 <p>～以下、「知財英語コミュニケーションワークショップ」の対象者～</p> <ul style="list-style-type: none">● 知財実務で英語を話す必要があるが、人前で英語を話すことに抵抗がある人● 現地代理人とのミーティングや会食で英語での会話を楽しみたい人● 現地代理人や海外のカウンターパートと英語で意思疎通ができるようになりたい人● 欧米の特許事務所主催のセミナーや、JIPAのFコースのような海外研修に参加予定の人、または将来参加したい人● 海外出張や海外駐在の予定がある人、または希望する人 |
| 概要 ねらい | <p>「知財英語コミュニケーションワークショップ」(全3回)の内容や目的を講師自身から説明する1.5時間の紹介セミナーです。お気軽にご参加ください。</p> <p>～以下、「知財英語コミュニケーションワークショップ」の概要・ねらい～</p> <p>知財実務において、海外企業や現地代理人と英語で意思疎通ができれば業務の効率化やコストカットにつながる、と頭ではわかっているが、人前で英語を話すことへの抵抗感を打ち消すことができない人は多いと思います。英語は「習うより慣れる」、本で理屈を学ぶのではなく、どんどん声に出して体で覚えていくことが、人前で話せるようになるための近道です。</p> <p>本講座では、知財実務で必要となる英語でのコミュニケーションを、プレゼンテーションとディスカッションの演習を通して身に付けていただきます。プレゼンテーションは、3～4人一組のグループで行いますので、資料作成が分担でき、1人で全てのプレゼンテーションを行うより心強いです。またディスカッション演習では、現地代理人との会食を想定したスモールトークを中心に練習します。講義は、(受講生の反応をみながら)日本語と英語の両方で行います。アシスタントとしてネイティブ講師が付きまます。</p> |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none">● 「知財英語コミュニケーションワークショップ」の内容と目的、より効果的な学習機会とするためのポイントを理解する |



担当 講師

田中 康子（たなか やすこ）

千葉大学理学部（二次試験の受験科目に英語無し）卒業。1990年4月帝人(株)の知的財産部にて、特許出願権利化・他者特許対策（クリアランス）・ライセンス・係争・知財教育等の実務に携わる。2005年2月ファイザー(株)知的財産部入社、2006年9月住友スリーエム(株)（現スリーエムジャパン）知的財産部入社。これら外資系企業にて、米国本社知財部門・研究開発部門との日常的な英語による実務を経験し英語によるグローバルコミュニケーションスキルを身に付ける。2013年3月に住友スリーエムを退職し、同年4月に知財経営コンサルティング会社「エスキューブ株式会社」を、8月に「エスキューブ国際特許事務所」を設立。2014年度より大手メーカー知財部にて知財英語コミュニケーションの指導にあたる他、セミナー・ワークショップにて知財英語コミュニケーションの指導を行っている。

強み：もともと苦手であった英語を克服した経験から、英語が得意でない人の気持ちがわかること。幅広い知財実務を経験しているため、知財実務上どのような場面で英語が必要なのか、どのような表現が必要なのかを的確に理解してアドバイスできること。

内容 (予定)

- はじめに

- 「知財英語コミュニケーションワークショップ」講座内容の紹介
 - 本講座の目的
 - 全3回のプログラム内容
 - 演習（一部）体験

- Q&A

- おわりに
 - より実りある機会とするために：受講のポイント
 - 事前勉強（任意）方法のご紹介